

コード	601031412
記入日	H24.6.8

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	熊屋 諒紀

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	更生保護協会上五島支部補助事業
----------	-----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行動による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	601	施策名称	行財政の効率化の推進	項コード	1
基本事業コード	60103	基本事業名称	効率的、効果的な財政運営と役場のスリム化	目コード	1
事務事業コード	6010314	事務事業名称	総務一般管理費（人件費以外）	細目コード	12
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 長崎県更生保護協会 (対象2) 住民		(対象指標1) 1団体 (対象指標2) 22,720人口(H23.4.1現在)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	<ul style="list-style-type: none"> <li>長崎県更生保護協会上五島支部活動費補助金として700千円を交付した。</li> <li>主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>→保護司会研修会の開催</li> <li>→社実実施委員会・弁論大会の開催</li> <li>→薬物乱用防止街頭キャンペーンの実施</li> <li>→各種会議・研修会への出席</li> </ul> </li> </ul>	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****	
		①	補助金交付件数	1件	100%		平成23年度
		(達成率分析)	当初の目的・計画どおり補助金の交付ができています。				
*****	<ul style="list-style-type: none"> <li>→保護司会研修会の開催</li> <li>→社実実施委員会・弁論大会の開催</li> <li>→薬物乱用防止街頭キャンペーンの実施</li> <li>→各種会議・研修会への出席</li> </ul>	*****	*****	*****	研修会開催回数÷ 開催予定回数	*****	
		②	研修会開催回数	6回	100%		平成23年度
		(達成率分析)	保護司会研修会について、予定していた6回の研修ができた。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
*****	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪・非行の防止及び罪を犯した人の更生保護を行う長崎県更生保護協会上五島支部に活動費の補助を行うことで、犯罪の未然防止等の啓発活動を支援する。</li> </ul>	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		①	*****	*****	*****	研修会参加者数÷ 参加対象者数	*****
		研修会出席者数	126人	87%		平成23年度	
(達成率分析)	年間6回の研修会を計画し、延べ144人の参加（全員6回参加）を予定していたが、126人の参加であった。						
②							
(達成率分析)							

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 件	7	7	6	1	1					
	② 回	40	40	34	6	6					
成果指標	① 人	869	851	725	144	126					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	5,000	5,000	4,200	800	800					
直接事業費 A	千円	5,000	5,000	4,200	800	800					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	5,000	5,000	4,200	800	800					

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

<b>1次評価</b>	<b>妥当性</b>	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	明るく非行のない犯罪のないまちづくりの推進は行政としても積極的に関わるべきである。
	<b>有効性</b>	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	研修会も含めさまざまな活動が計画されており非行防止等の思想普及が図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	<b>理由</b>	啓発活動等は、継続して実施することで成果が向上するものと思われる。
	<b>効率性</b>	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	<b>理由</b>	地域住民への啓発活動など行っており非行防止等の思想普及に大きく貢献している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	<b>理由</b>	会員会費と町からの補助金で運営しており、保護司会を中心とした無報酬の活動であり、事業費の削減は活動の規模縮小につながる。	

**改善 ( ACTION )**

<b>1次評価</b>	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	活動内容を評価し、適切な補助金額を決定する。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

<b>2次評価</b>	当該団体の活動を助成することで明るく非行や犯罪のないまちづくりに向けて有効である。
-------------	---

<b>3次評価</b>	住民等の意見
<b>町の対応</b>	

<b>今後の事業の方向性</b>	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次	●	●								このまま事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次										類似事業と整理統合
	1次	2次	3次																									
	●	●																										
1次	2次	3次																										
			事業内容を見直して事業を継続		事業の休止																							
			事業費を見直して事業を継続		事業の廃止																							

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。